

2024年度

第3四半期決算

期間：2024年4月1日～6月30日

2024年8月8日、ドイツ・ミュンヘン

第3四半期の収益成長 — 見通しを確認

「電化事業に対する高い需要の恩恵を受け続け、第3四半期には収益性の高い成長を遂げました。もう1つの成長要因は特に好調な産業用ソフトウェア事業で、数々の大型ライセンス契約を獲得しました。産業オートメーション事業は依然として厳しい状況にあります。当社の通年の見通しを確認しました」と、シーメンスAG代表取締役社長兼CEOのローランド・ブッシュは述べています。

「全体として、第3四半期には純利益と利益率の両方が明らかに増加しました。今後堅調な第4四半期を迎えることで、我々がキャッシュフローに注力していることを改めて強調することになるでしょう」と、シーメンスAGのCFOラルフ・P・トーマスは述べています。

- 第3四半期の収益は、通貨換算とポートフォリオの影響を除くと、比較可能なベースで5%増加。比較可能な受注は、モビリティ分野の受注が過去最高を記録した2023年度第3四半期よりも15%減
- 名目ベースでは、売上高は4%増の189億ユーロ、受注は198億ユーロで16%減、受注率と請求額の比率が1.05で収益を上回り、受注残は1,130億ユーロという高水準に
- インダストリービジネスの利益は11%増の30億ユーロ、利益率は16.5%に達し、前年同期を大きく増加
- 純利益は21億ユーロで、これに相当する基本1株当たり利益（EPS）は2.51ユーロ、購入価格配分会計前のEPS（PPAあたりのEPS）は2.66ユーロ

SIEMENS

シーメンス

(単位：100万ユーロ)	第3四半期		増減%	
	2024年度	2023年度	実績	比較
受注	19,782	23,488	(16)%	(15)%
売上	18,900	18,145	4%	5%
利益 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	3,033	2,721	11%	
内：退職手当	(62)	(79)		
利益率 (Adjusted EBITA)				
インダストリービジネス	16.5%	15.4%		
退職手当を除く	16.9%	15.9%		
継続事業からの利益	2,158	1,386	56%	
内：退職手当	(76)	(91)		
非継続事業からの利益、 (税控除後)	(25)	55	n/a	
純利益	2,133	1,440	48%	
基本1株あたり利益 (単位：ユーロ)	2.51	1.61	55%	
PPA前のEPS (単位：ユーロ)	2.66	1.78	49%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	2,121	2,951	(28)%	
キャッシュ・ コンバージョン・レート	0.99	2.05	(52)%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	17.3%	12.8%		

- デジタルインダストリーズおよびスマートインフラストラクチャーでの2桁の増加を含め、ほとんどのインダストリービジネスで受注が増加、いずれも契約規模が大きかった。これとは対照的に、モビリティの大型受注は、過去最高の受注を記録した2023年度第3四半期と比較して、受注が大幅に減少
- スマートインフラストラクチャーが2桁増収、Siemens Healthineersとモビリティが貢献
- 通貨換算とポートフォリオ取引は、前年比での取引量の増加にわずかに影響
- インダストリービジネスの利益は、すべてのインダストリービジネスの成長により上昇。特にスマートインフラストラクチャーとSiemens Healthineersの伸びが顕著
- 継続事業からの収益は、インダストリービジネスの好調により増加。2023年度第3四半期は、シーメンス・エナジーに関連する6億ユーロの損失を含む
- 非継続事業は、イノモティクスのカーブアウトに関連する税金費用と取引費用により損失を計上
- インダストリービジネスは25億ユーロの堅調なフリーキャッシュフローを生み出し、2023年度第3四半期のインダストリービジネスからのフリーキャッシュフローは31億ユーロで、モビリティ部門の顧客からの多額の前払いが含まれていました。インダストリービジネス以外では、納税による現金流出は前年同期より5億ユーロ増加し
- 2024年6月30日現在の年金および同様の債務引当金は、過去最低の13億ユーロ（2024年3月31日：14億ユーロ）
- ROCEは純利益の増加により増加したが、平均資本使用量の増加により一部相殺